

振動の大きさの目安

震度階級	名称	振動の大きさ (換算値)	人の体感や行動	屋内の状況	屋外の状況
0	無感	55 デシベル以下	人は揺れを感じないが、地震計には記録される。	—	—
1	微震	55 デシベル ～ 65 デシベル	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。	—	—
2	軽震	65 デシベル ～ 75 デシベル	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には、目を覚ます人もいる。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。	—
3	弱震	75 デシベル ～ 85 デシベル	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の中には、揺れを感じる人もいる。眠っている人の大半が、目を覚ます。	棚にある食器類が音を立てることがある。	電線が少し揺れる。
4	中震	85 デシベル ～ 95 デシベル	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	電線が大きく揺れる。自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。
5弱	強震	95 デシベル ～ 105 デシベル	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。道路に被害が生じることがある。
5強	強震		大半の人が、物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが多くなる。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。無補強のブロック塀が崩れることがある。据付け不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運動が困難となり、停止する車もある。
6弱	烈震	105 デシベル ～ 110 デシベル	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
6強	烈震		立っていることができず、はわないと動くことができない。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することが多くなる。無補強のブロック塀のほとんどが崩れる。
7	激震	110 デシベル以上	揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損することがある。

※上記は目安であり、その場の状況や条件等により感じ方や大きさは違いますので、あくまでも参考としてご覧ください。